

【議案説明資料】

当該資料は、議案資料の説明となります。資料は、

- ・議案 1 登別市地域公共交通計画の進捗（令和6年度）について
- ・報告 1 カルルス路線の廃止に伴う代替措置の実施状況について

となりますので併せてご覧ください。

議案1 登別市地域公共交通計画の進捗(令和6年度)について

本議案は、登別市地域公共交通計画につきましては、各基本方針に基づき設定した施策の達成状況及び数値目標の評価を、1年毎に実施状況の確認・評価を行うこととなっておりますので、事務局で実施状況について、国土交通省の地域公共交通計画等の作成と運用の手引きを参考に作成しましたので、評価についてご審議くださいますようお願いいたします。

●資料1ページ

目標①公共交通の維持を目的とした便数・路線の見直し

目標②ライフスタイルに合わせた公共交通サービスの導入

■平日の公共交通利用者（1便あたり）

市内を運行している路線バスのうち、登別駅を通行する路線を抽出し評価する指標となり、例年、路線バス事業者から乗降データをいただき分析しておりますが、令和6年10月1日のダイヤ改正により、登別駅～登別温泉の一部について、乗車時運賃精算の整理券を取らない方式となったため、乗降データがない状況です。

乗降データがない登別駅～登別温泉は、抽出する路線の4割にあたる便数を占めており部分的な評価もできないため、次期計画に向けて、当該指標について検討してまいります。

■グリーンスローモビリティ利用者数（1便あたり）

■グリーンスローモビリティの市負担額

■グリーンスローモビリティの収支率②生活交通確保維持改善計画の目標

令和6年度第2回協議会で、自家用有償旅客運送の業務廃止を決めたことから、当該指標の評価は実施しません。

■人口当たりの公共交通市費負担額

市内路線バスの赤字部分について一部市から補助しておりますが、その補助額を登別市民1人あたり費用に換算し評価する指標ですが、令和6年度の目標値を105円としておりましたが、161円と目標達成には至りませんでした。

この評価には、令和6年10月1日のダイヤ改正が反映されていません。そのため、既に廃止したカルルス・サンライバスキー場線が含まれており、補助金全体に占める割合は約6割となっております。今後については、目標達成に向けて路線バスの利用状況や運転手の状況を共有してまいります。

■補助対象路線の経常収支率

市内を運行する路線バスの赤字部分について一部市から補助した路線について、経常経費に占める経常収益の割合となりますが、目標値を55%としており、51.1%と目標達成には至りませんでした。評価等としてましては、収益率が一番低いカルルス・サンライバスキー場線が廃止となったことから、「人口当たりの公共交通市費負担額」同様に、路線バスの利用状況や運転手の状況を共有してまいります。

■公共交通説明会の実施回数

バスの乗り方教室を通じて、公共交通の認知度向上と利用者数の確保に努めるものですが、目標値3回としており、1回の開催で目標達成には至りませんでした。評価等としては、7月のリサイクルまつりで合同開催しましたが、運転手不足の状況からこれ以上の開催が難しい状況です。今後については、バスの乗り方教室を引き続き実施するものの、人材確保に向けた取り組みに比重を置き進めてまいります。

●資料2ページ

目標③乗務員不足に対応した輸送手段の確保

目標④既存移動手段を活用した支援体制の構築

■公共交通サービスの満足度

4年に1回、市が実施している全市的なまりづくり意識調査を活用し、公共交通の満足度について調査しており、次回実施は、令和7年度となっておりますので、今回の評価は実施いたしません。

■乗務員の確保

道南バス、室蘭ハイヤー、登別ハイヤーの従業員数となりますが、目標値を465人としており、365人と目標達成には至りませんでした。評価等としては、持続可能な公共交通とするため、運転手確保に向け交通事業者の声を聞き、近隣自治体の取組等を参考に運転手確保策の検討を進めて行きますが、現状、退職自衛官向けの再就職説明会の開催に向け関係機関と調整を進めており、令和7年度の実施を目指しております。

■新たな公共交通サービスの提供（累計）

バスマップの作成、バスロケーションシステム、デマンド交通の導入、割引サービスなど、新たなサービスを検討しサービス提供していく指標ですが、目標値が2件に対し、バスロケーションシステムの導入の1件であり、目標達成には至りませんでした。

現在、令和6年10月1日のダイヤ改正後のバスマップを作成しているほか、庁内で免許返納者等への移動支援策等の検討を進めております。

目標⑤観光客に対応した移動支援

目標⑥公共交通空白地域における移動支援

■観光客向けの公共交通支援（累計）

観光客向けのバスマップの作成、MaaSや割引サービスなど、新たなサービスのあり方を検討しサービス提供していく指標ですが、目標値が2件に対し、登別駅～登別温泉間で、登別時代村前以外のバス停に停まらない快速便が導入されたほか、当該快速便について乗車時運賃精算システムの導入がありました。今後につきましては、登別駅～登別温泉間のインバウンドが予想以上の多いことから、引き続き検討してまいります。

■公共交通の人口カバー率

目標値85%としており、82.29%と目標達成には至りませんでした。評価等としては、カルルス路線の廃止を受けタクシー利用助成を実施しているほか、登別温泉のグリーンスローモビリティは自家用有償旅客運送を業務廃止したものの誰もが乗車できる無償運行としているため、カバー率算定に含めておりますが、他の公共交通空白地域の移動支援策が思うように進んでいない状況です。今後については、登別本町において観光客の周遊動向を念頭にニーズ把握のための実証実験を進めたいと考えております。

報告1 カルルス路線廃止に伴う代替措置の実施状況について

令和6年度第2回協議会でカルルス路線廃止に係る影響や対応策の検討についてご説明し、別途、対応策について委員の皆様にご通知させていただいておりますので、その後の経過について報告いたします。

●資料1～2ページ

①生活交通について

カルルス町又は上登別町に居住し、運転免許証・自動車がなく、タクシーを1人で利用できる方を対象に、タクシー利用券（タクシー料金の一部を補助する）を交付しておりますが、現時点で10人の利用決定となっております。実際に使われているのは実人数で3人となり、タクシーは室蘭ハイヤーと登別ハイヤーが利用されております。タクシー事業者への聞き取りでは、利用人数が低調なこともありますが、大きな問題はないとのことです。

令和7年度も継続することとし、予算案を市議会に上程しておりますが、令和7年9月末までの実施状況を踏まえ事業評価を実施し、今後の実施の可否も含めて検討する予定です。

②中学生の通学について

中学生の通学については、登別市教育委員会（以下「市教委」という。）が室蘭ハイヤーにスクールタクシー業務を委託し、対象となる生徒は1人でカルルス町の中学生が利用しております。学校の部活動や委員会の調整については、保護者、学校、市教委と連携しスムーズに運行されております。

令和7年度も継続することとし、予算案を市議会に上程しておりますが、現在の対象者は令和7年度をもって中学校を卒業するため、令和8年度以降の対象者はおりません。

③観光交通について

冬期のサンライバスキー場までの利用ニーズを把握すべく、サンライバスキー場が運行主体となり、登別温泉とサンライバスキー場間で無料送迎（ハイエース）の実証実験を行いました。利用状況としましては、道外の観光客や外国人観光客のほか、一部学生の利用もあり、運行日数が17日で1日1往復に対し、延利用者数は218人でありました。

令和7年度においては、今年度の実証結果を踏まえ、対応を検討してまいります。

委員の皆様には、議案1について、ご承認の可否をご審議いただき、別添の「令和6年度第3回登別市地域公共交通活性化協議会（書面会議）議案審議書」に必要事項を記載の上、事務局までご返信ください。

回答期限は、令和7年3月24日（月）

提出方法は、メール：kyodo@city.noboribetsu.lg.jp

F A X : 0143-85-7674

登別市市民生活部市民協働グループ

市民生活担当：北出 宛